

羅針盤

介護福祉士

らしんばん

No.70 (No.28)

平成 29 年 2 月 発行

一般社団法人岡山県介護福祉士会

〒 700-0807

岡山市北区南方 2 丁目 13-1

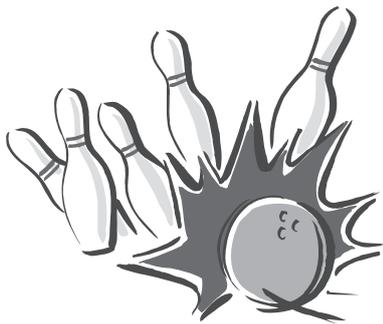
岡山県総合福祉・ボランティア・

NPO 会館「きらめきプラザ」7 階

TEL : 086-222-3125

URL : <http://www.okayama-kaigo.jp>

印刷編集協力：友野印刷



えがお

元気な寮生18名と一緒にボウリング場に行きました。若い頃のように体が動いた人や、思ったように動けなかった人がいました。16点～202点と大きく差がありましたがみんな大盛り上がりでした。良い運動にもなり、みんな“えがお”で楽しい時間を過ごしました。

津山広済寮 河島 朋美

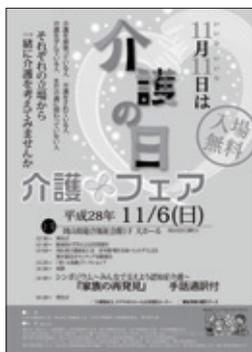
平成28年度 介護フェア開催

～11月11日 いい日いい日は介護の日～



日時 平成28年11月6日（日）12：30～16：30

会場 岡山県総合福祉会館



11月11日 いい日いい日は介護の日です。毎年多くの人たちの来場で賑わう介護フェアを今年も開催し、動員数344名と盛況のうちに閉会しました。

今年で8回目となる介護フェアですが、内容をガラリと変え『養成校の学生さんによる実習報告』、劇団OiBokkeShi主宰の菅原直樹氏による『老いと演劇ワークショップ』、そして青年隊“晴れる家”の『熊本震災ボランティア報告』がありました。

また、～みんなで支えよう認知症介護～『家族の再発見』をテーマとし、コーディネーターに新見公立短期大学の地域福祉学科学科長 岡教授を迎えて、それぞれの立場から認知症介護についての体験談や意見を交わすなどのシンポジウムを開催いたしました。

来年は、また趣向を変えての介護フェアを計画しております。



(広報委員長 磯田)

養成校の学生による実習報告 (美作大学短期大学部 介護福祉専攻科)

はじめに美作大学短期大学部 須江裕子先生から介護福祉士養成校についてのお話がありました。

次に、美作大学短期大学部 介護福祉専攻科学生 宮本佳奈さんから、事例「家に帰りたいという認知症を抱えたA子さんの思いに寄り添う介護」の実習報告がありました。

A子さんとの会話時間を多くとることで、家に帰りたい気

持ちを理解しA子さんの思いを大切に考えているのが伝わりました。写真にのせて会話することで、認知症を抱えていても、A子さんが微笑まれ喜んでもらったとの発表があり、とても良い実習報告でした。(美作地区：広報 神田)



『老いと演劇』ワークショップ

～ OiBokkeShi 劇団理念として「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」とあり、演劇と介護がお互いに共生して「老い」「ボケ」「死」の明るい未来をあぶりだしたいとの願いが込められている～

演劇を通じて認知症を楽しく理解し、認知症のボケを直すのではなく、演劇の知恵を活かし「演技」で自然に受止める。認知症の人との関わり方を考えるにあたり、もっとも大切な傾聴や受容を認知症の人の世界観に入り込み体当たりで演じて受止めるなど、菅原さんの講演は、今までにない発想の融合と具現化された分かりやすさでした。

前半の講演に引き続き、後半では各養成校の学生も参加して、認知症を抱えた老人役と介護者役になり体感することで、緊張しながらも楽しく、会場からも笑いが起こり明るい雰囲気になりました。

最後に、介護とは「しんどい、つらい」ことの連続ですが、関わり方・考え方を変えれば一気に楽しくなるのではないのでしょうか。ボケを受け入れてくれる介護者がいれば幸せになれるでしょうとも話されていました。

これからの超高齢社会では、必ずどこかで認知症の人と関わるが出てきます。介護はとてムクリイティブでやりがいのあることです。「今ここにいることを共に楽しむ介護」を願っていますと話され、私達もとても勇気をいただきました。心が明るくなった講演でした。

(美作地区：広報 神田)



菅原 直樹さんプロフィール

菅原 直樹 (Naoki Sugawara)
1983年栃木県宇都宮市生まれ
OiBokkeShi (オイボッケシ) 主宰
俳優であり介護福祉士
四国学院大学 非常勤講師
奈義町アートデザインディレクター



2012年岡山に移住。認知症ケアに演劇手法を生かしたワークショップ・講演会を全国各地で実施している。最近では、認知症徘徊演劇「よみちにひはくれない」在宅ケア演劇「ぼくのババはサムライだから」などの活動がメディアに取り上げられて注目をあつめている俳優介護士。

岡山県介護福祉士会青年隊 “ハレルヤ” による 熊本震災ボランティア報告 (活動期間：5月12日～16日)

発表者：甲加 勇樹さん・早見 潤一さん



青年隊 “ハレルヤ” の甲加勇樹さんと早見潤一さんが熊本震災ボランティア報告をしてくださいました。早見さんは東日本大震災の時にもボランティアに参加され、その時に被災地ボランティアの大切さを感じ、今回の熊本震災にも何か自分にできることがあるのではないかとこの思いで参加されました。派遣場所は、被害が大きくメディアなどでよく取り上げられている益城町の特別養護老人ホーム「花へんろ」を拠点とし活動されました。活動内容は夜間のトイレ介助を行ったり、掃除などの雑用・利用者さんとのコミュニケーション及び見守りを行ったとの事でした。「介護福祉士としてボランティアを行う意義は非常に大きく、我々介護福祉士は生活の専門家であり、生活の一つ一つがその方の尊厳を支えています。罹災された方々は生活の土台が揺るがされた状態にあり、特に高齢者はその影響を受けやすく、そのような状況下にいる方々とコミュニケーション

ンを取ることが出来たことに感謝している」と言われました。ボランティアはただ生活に必要な物資を届けるだけにとどまらず、その人のために何かしようという心を届けることであること、それこそがボランティアの一番の意義ではないでしょうかと、投げかけられていました。発表の終わりに、避難所は一時的な住居であり、被災者がそこを出てからの生活を支援していく必要がある。そのような意味で次の一步を踏み出すための小さな助けとして、ボランティアの意義は大きいという事を教えてくださいました。今回の発表を通じて、岡山県は災害の少ない地域のため危機意識が低いと言われていたのですが、いつどこで災害が起こるか分からないため、その時の備えができる様に一人一人がアンテナを張り巡らせて災害への知識を積極的に取り入れていかないといけないと感じました。

(高梁・総社地区：広報 小橋)

シンポジウム

～みんなで支えよう認知症介護～
『家族の再発見』



| | |
|----------|--------------------------|
| コーディネーター | 岡 京子先生 (新見公立短期大学) |
| シンポジスト | 杉本 一世氏 (認知症の人と家族の会) |
| | 黒瀬 晃子氏 (吉備中央町市域包括支援センター) |
| | 菅原 直樹氏 (OiBokkeShi主宰) |
| | 磯田 明枝氏 (グループホームわが家) |

杉本氏

認知症の父親が癌となり、できない事が増えていく中で、できることを探し今までの家族とは違った新たな家族として関わることで見えてくるものがある。認知症になる事は悲しいことだが両親が認知症になったことで、貰えたものもある。認知症が進行している時に、利用者本人の不安もあるが、家族にとっては親が壊れていくような戸惑いがあり、そのようなことをくみ取りながら介護者として関わって行って欲しい。

黒瀬氏

認知症地域支援推進員の立場から吉備中央町で暮らす認知症の高齢者の現状を知る中で、認知症の方との関わりを通じ信頼関係を築いていくことで、どんなことで悩んでいるのかを聞き出すことができ、それが病気の早期発見・早期治療に繋がってくる。そして、不安を訴えるタイミングで共に悩み、次への一步を踏み出す援助を行うことを目指していきたい。

菅原氏

演劇活動を通じて介護と演劇はつながりがあること、そして芸術や文化は障害や時代を超えて人と人とを結びつけるものがある。歩いている姿にはその人の人生が詰まっており、高齢者施設には人生が詰まっている。その方々の人生を聴き、その人に合った役割を共に探していくことが介護士には求められる。

磯田氏

現場で働く介護福祉士は日頃の利用者様との関わりの中で「天にも地にも目があり家族の目がある」という気持ちを常に持ち、日々の介護に臨んで欲しい。

今回のシンポジウムを通して、地域で暮らす認知症や障害のある方も、様々な専門家・地域住民、そして家族といった大きな土台があって初めて住み慣れた地域で長く暮らすことができるのだと改めて実感することができました。

(高梁・総社地区：広報 小橋)



介護フェアに参加して（参加者インタビュー）

美作大学短期大学部 介護福祉専攻科 吾郷さん

今回、介護フェアに参加して、改めて今後の自分たちの生活の中で、「介護」という仕事が、大切になってくるという事を実感しました。「菅原直樹さんのワークショップ」にも参加させていただき、自分自身の今後につながるヒントを得ることができ、とても良い時間を過ごすことができました。

美作大学短期大学部 介護福祉専攻科 矢野さん

介護フェアに参加し、自分の施設実習よりも素晴らしい事例報告が聞けてよかったです。ワークショップでは、認知症について、今まで考えていた感じとは違う印象が持て、良い勉強になりました。

岡山医療福祉専門学校 介護福祉科 小林 久瑠美さん

近県だけでなく遠い県へも行かれ、自分の住んでいる県を超えて介護福祉士の強みが発揮されているのだなと感じました。ボランティア＝施設介護と思っていたが、住民の方々の精神的な支援も行っている事を知ることが出来ました。今後は利用者だけでなく家族の方々の笑顔を作ることが出来る介護福祉士になりたいです。

玉野医療福祉専門学校 介護福祉科 藤原 光さん

介護福祉士の方々が被災地にボランティアとして行って、被災地の支援にもなっているのだなあと思いました。今後は、介護を必要としているの方々のお世話や力になれる介護福祉士を目指したいです。

岡山医療福祉専門学校 介護福祉科 川戸 健太郎さん

皆で地域を支えることで、家族の再発見につながるという事を感じることができた。また、周囲の人との関わりが認知症の方を支えていく上で大切だと思った。今後は、その人らしさを支えていける介護福祉士になりたいです。



(順不同)

| No. | 展示・広告企業様一覧 |
|-----|-------------------------|
| 1 | 東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所 |
| 2 | 岡山リハビリ機器販売有限公司 |
| 3 | 医療法人誠和会 介護老人保健施設福寿荘 |
| 4 | 日本福祉大学 岡山オフィス |
| 5 | ライフメッセージ株式会社 |
| 6 | 株式会社 GIRASOLE 『岡山ひまわり校』 |
| 7 | 友野印刷株式会社 |
| 8 | 株式会社パソナ岡山 |
| 9 | 株式会社誠屋 |
| 10 | 株式会社アスティコ |

| No. | 展示・広告企業様一覧 |
|-----|----------------------------|
| 11 | 森脇法律事務所 |
| 12 | 株式会社明石スクールユニフォームカンパニー 岡山支店 |
| 13 | 合資会社わらべごころ |
| 14 | 丸菱産業株式会社岡山支店 |
| 15 | 株式会社ライフケア |
| 16 | ND ソフトウェア株式会社 |
| 17 | 株式会社ビザビ |
| 18 | 有限会社ナカシマ建創 |
| 19 | オージー技研株式会社 |
| 20 | 大塚製薬株式会社 |

ご支援、ご協力ありがとうございました。


報 告


～第22回 中国・四国ブロック研修会～ 徳島県大会

「今こそ取り組もう！魅力ある介護の現場づくり!!」

開催日 平成28年10月1日(土)・2日(日)

会場 ホテルクレメント徳島
メイン会場：4階 クレメントホール

平成28年10月1日(土)2日(日)に徳島県にて開催されました。メインテーマは「今こそ取り組もう！魅力ある介護の現場づくり!!」でした。

基調講演では「介護福祉士の地位向上と待遇改善について」の演題で厚生労働省老健局総務課企画法令係長 森 朝哉氏の講演がありました。続いて、記念パネルディスカッションでは「～今、求められる介護福祉士とは～」のテーマで行われました。コーディネーターは、淑徳大学教授 結城 康弘氏でした。「介護福祉士はおとなしい」と開口一番に言われたことにショックな気持ちと発奮する気持ちが入り乱れました。今頑張っていることを強くアピールすること、質の高いアピール力を身に付けなければならないことを感じた一日目になりました。

二日目は、第四分科会「介護福祉士会での取り組み」の座長として参加させていただきました。テーマは、①高知県の若者会NEXT委員会誕生とミッション ②広島県の「心が動けば体も動く～お祭りを通したりハビリ効果と社会参加・尾道寝たきりになら連の活動～」③鳥取県島根県の「熊本震災レポート～現場介護ボランティアに参加して～」でした。どの発表も地域に向けて介護福祉士会が活躍している発表で刺激を受けることができました。特に青年隊晴れる家のメンバーは、高知県の発表「若者会NEXT」の組織りに感銘を受けたようで、これからの活動をどのようにするか意見を出し合っているようです。

また、中国・四国ブロック会議が行われている同時間には、若者会の話し合いも行われ充実した時間が持たれたようです。
(会長 安達 悦子)

青年部



今回の中四国ブロック大会に合わせて初めての試みとなる中四国ブロック全県の青年隊の代表会議が行われる事になり、青年隊晴れる家代表の代理という形で早見と共に会議に参加させて頂きました。

この会議では各県の青年隊の課題や立ち上げてからの活動の経過報告などを話し合い、現在の晴れる家が抱えている問題や、活動の参考にさせてもらえるような事などとても有意義な話し合いが出来ました。

各県の青年隊もそれぞれ立ち上げの時期も異なっている為、活発な活動をされている県やこれから立ち上げる県など様々でしたが、皆さんとても熱い気持ちを持って活動している事が伝わってきて、この方達と一緒に何か活動してみたいと思えました。

そして来年の中四国ブロック大会では9県が力を合わせて何か企画をしたいと考えていると広島県の代表から話があり、とても興味深く、何らかの形で共に頑張っていける取り組みがしてみたいと思ひ、勝手ながら岡山県は全面協力していく約束をしました。

来年度から晴れる家も新しい代表になり、今までの良い流れを継承しながらもっと活発な若者らしい取り組みが増えてくれるように共に頑張っていこうと思います。

貴重な体験と新しい仲間との出会いをさせてもらえる場に参加させて頂いたことを感謝します。

(青年隊晴れる家：甲加 勇樹)

フォローアップ研修会

実習指導者フォローアップ研修会

日 時：平成28年9月5日（月）

会 場：岡山県総合福祉会館

内 容：「実習指導ステップ1：事例を通して学生指導を考える」

講 師：社会福祉法人 淳風福祉会 沖中 純子 氏
川崎医療短期大学 三宅真奈美 氏

講義・グループワーク・実技を通して、実習指導者に求められる視点や指導ポイントなどを学びました。

中でも印象的だったのが、実習指導を通して、職場の雰囲気作りやチームワーク力を見直すことも大切だということでした。『指導』とは、最後まで責任を持って相手を導くこと。実習では、学生の心の部分を成長させてほしいという点でした。

日々の忙しい業務に追われ、限られた時間の中で実習生とのコミュニケーションに悩む職員は少なくないと感じました。今後も、フォローアップ研修や職場、学校を巻き込みながら、チームワークで学生指導に挑んでいきたいです。

※今回の実習指導者フォローアップ研修会は平成27年度より、シリーズとして開催されており、今後も回を重ねるごとに指導者のステップアップを目的に研修が予定されています。

(岡山地区：広報 柴田)



介護技術指導者フォローアップ研修会

日 時：平成28年9月13日（火）

会 場：岡山県総合福祉会館

講 師：サンキウエルビィ（株） 津山センター 田淵美野里 氏

当該研修に参加させていただきました。

自施設からは3名の指導者が参加させていただきました。講習での技術指導だけでなく自施設内でも技術指導を行っています。もちろん、基本的な指導方法などは各人で行っていますが、細かいポイントや指導内容の根拠についての振り返りが困難であり今回の研修に参加することとしました。

研修では指導方法に焦点を当てた内容となっており、普段、ともに活動することの少ない指導者の方々の指導方法を目の当たりにし、自分の行っている方法の振り返りが行えました。

細かいポイントや指導内容の根拠については介護技術指導者として備えていなければならない基本的なことなのだと再確認するとともに、他の指導者の方々からの刺激を受けることで次年度からの活動への意欲が生まれてきました。

(岡山地区：上所 英司)

中堅職員研修 ~介護福祉研究の進め方講座~

日時：11月30日(水) 12月7日(水) 2日間

会場：岡山県立大学

講師：岡山県立大学 保健福祉学部教授 谷口 敏代 氏



今まで実践研究発表会や各団体の研究大会などに参加したことはありましたが、自分の取り組みをまとめる機会はほとんどありませんでした。この研修会に参加することで取り組みのヒントや自施設での指導に役立つのではないかなというのが私の参加へのきっかけでした。しかし、講師の一言目が「ポイントを学ぼうではなく、論文を書き上げるつもりでいてください」でした。自分のきっかけを見透かされもっと真剣に取り組んでほしいという講師の思いを感じる一言でした。

私にとって大きな学びとしては不慣れであった研究論文への考え方や取り組み方を学べたことです。また、参考文献の調べ方やその必

要性などあまり重要視したことなかった事柄がとても大切だったことに気づきました。

今後、自分たちの取り組みやそのまとめ方が報告の形式から研究といった形へ変わっていったらと思います。

今回の研修は募集定員30名に対して、実際の参加者は7名でした。参加者が少ないこともあり手厚い指導をいただくことができ良かったのですが、終わった時にたくさんの方々と研修を共有できたらと思いました。

共に参加していた研修生のみならず今度は実践研究発表会でお会いできたらと思います。

(岡山地区：上所 英司)



地区研修会

岡山地区

日時：平成28年11月19日(土)

場所：旭川荘研修センター

テーマ：「看取りの関わりが教えてくれたもの」

講師：日本看取り士会会長 柴田 久美子 氏



約30名の方が参加し、看取りの考え方や看取り士の活動について、研修を行いました。講師の柴田会長の包み込むような優しい声と絶え間ない笑顔に包まれながら、看取りに携わる者としての心構えなど多くのことを学びました。

看取りとは、逝く人から生きる人へのエネルギーの交換である。その為には、きちんと「死」を理解し受け入れることが必要である。「死にざま」は「生きざま」である。など、介護施設での経験や島での看取りなど様々な経験を基に、分かりやすく丁寧に講演してくださいました。

参加者の声には、死についてネガティブに捉えていたが、今回の研修に参加して気持ちが楽になった。講師の話が心の奥に響いて温かい気持ちになった。とても感動した。など多くの素晴らしい反響がありました。

(岡山地区：広報 柴田)

What 看取り士？

「看取り士」とは、柴田会長が考案した民間資格。日本全国に看取り士を養成している。余命を告知された患者宅を有料で訪ね、24時間態勢で看取りをサポートする。患者の希望を聞き、手を握り、身体をさすることで当事者が抱く不安の軽減を図る。



初任者研修

●新見地区 (テーマ：医学知識)

日 時：平成28年8月30日 (火)
 会 場：おおさ総合センター
 講 師：特別養護老人ホームおおさ苑
 看護課長 塚本 幸恵 氏
 参加者：13名

主な内容として①高齢者の特徴と加齢による身体・精神的変化と疾患 ②認知症 ③不活発症候群 ④法律上介護職員が行うことのできる医療行為などでした。

高齢者の健康を考える時、疾患をもっているかどうかで決めつけられないことが多く、老年期までに何らかの疾患に罹患し慢性化している場合があり、医療と連携していく中で介

護福祉士の医学知識は、なくてはならないものであると再度確認しました。

また、質疑応答の時間をいただき、ある会員より事例を聞くことができ、悩みなどの共有の時間を持つこともできました。

(新見地区：広報 磯田)



●美作地区 (テーマ：記録と報告)

日 時：平成28年11月3日 (木) 13:00~14:45
 会 場：津山市総合福祉会館
 講 師：朝日医療大学校看護学科開設準備室
 実盛 美幸 氏
 参加者：31名

今回の初任者研修は『記録と報告』についての講義をしていただき、また事故現場を想定した事例を分析することで理解を深めました。記録を行う上での基礎的事項の確認を行うことができるとともに、自分が書いた記録を第三者が見ても分かり易く、具体的に書けていたかを振り返る良いきっかけとなりました。近年、介護現場を取り巻く環境はより一層厳

しくなっており、裁判に発展することも少なくないのが現実です。その時に、適切で具体的な記録が自分の身を守ることもつながるため、日頃から利用者様とのやりとりを具体的に記録に残し、職員間の情報の共有化を継続的に行っていくことで、いざという時の法的な根拠となると学ぶことができました。

(美作地区：広報 神田)



●井笠地区 (テーマ：介護福祉士の基本的態度)

日 時：平成28年10月13日 (木)
 会 場：特別養護老人ホーム四季の里 (山吹ホール)
 講 師：ドルフィン岩倉管理者 馬越 民恵 氏
 参加者：19名

研修内容としては、『介護職の適正』や『介護職に求められる条件』、『介護職に必要なとされる能力』などがありました。

『倫理・マナーを守り協調性や向上心を持ち、感情に流

されず客観的に物事を見る』『利用者の思いを汲み取り情報収集しプラン作成に活かし、自己選択から自己決定に至る援助を行える』などを学ばせて頂きました。

介護に携わるプロとして、これまでの自分を振り返り、これからどうしていけばいいのかを考えることができたとても有意義な研修でした。

(井笠地区：広報 池田)



平成28年度 介護相談活動



今年度も、県介護福祉士会や地区（井笠・岡山・東備）において介護相談を行いました。

この活動には、岡山県共同募金会の助成を受けています。

また、赤い羽根共同募金にも参加しています。

参加していただいた会員の皆様、ありがとうございました。

介護相談 in 井笠

介護相談 in 岡山

介護相談 in 東備



赤い羽根共同募金
街頭活動



介護電話相談

平成28年度賛助会員の皆様

| |
|-----------------------------|
| 社会福祉法人 恵風会 特別養護老人ホーム 恵風荘 |
| 株式会社 パナ岡山 |
| 学校法人 旭川荘 旭川荘厚生専門学院 吉井川キャンパス |
| リコージャパン株式会社 |
| 東洋羽毛中四国販売株式会社 |
| 森脇法律事務所 |
| 日本福祉大学 |
| 学校法人 川崎学園 川崎医療短期大学 |
| 学校法人 美作学園 |
| 医療法人社団 新風会 玉島中央病院 |
| 社会福祉法人 しあわせの郷 |
| 社会福祉法人 松園福祉会 |
| 中央法規出版株式会社 |
| ナーシングヘルスケア株式会社 |
| 医療法人 ザイタック |

ご支援ありがとうございます

平成29年度岡山県介護福祉士会 賛助会員募集

当会の趣旨、目的に賛同頂ける岡山県介護福祉士会賛助会員を募集しております。

詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

資料を送付させていただきます。

岡山県介護福祉士会事務局 TEL：086-222-3125

第2回 参加無料!
おかやま 介護GP 2017
日時: 2017年2月25日(土) 11:00~16:00
場所: 岡山コンベンションセンター (ママカリアフォーラム)

見学者大大大歓迎!!

皆様のお越しを お待ちしています♪



H29年度は、介護福祉士初任者研修が 介護福祉士基本研修へと変わります

1. 目的

日本介護福祉士会では、これまで実施してきた「介護福祉士初任者研修」の内容を、介護過程の展開及びその前提となる生活支援としての介護の視点や、自立支援の考え方を中心としたものに見直しました。

それまでの実務経験で積み上げてきた実践値（知）を土台として、介護過程を展開し、根拠に基づいた介護を実践するための知識や技術、倫理観を改めて学び、専門職としての第一歩を踏み出すために、介護福祉士基本研修を実施します。

2. 生涯研修体系における位置づけ

「介護福祉士基本研修」は、介護福祉士資格取得後2年未満の方を対象として、日本介護福祉士会の生涯研修体系に位置づけている研修です。それまでの実務経験に関わらず、全ての会員に受講していただく研修となっています。

また、都道府県介護福祉士会の実施する「介護福祉士ファーストステップ研修」の受講要件として、「介護福祉士基本研修」の修了が必須となっています。

「介護福祉士ファーストステップ研修」修了後は、さらに「認定介護福祉士養成研修」へとキャリアアップの階段を上っていく生涯研修体系となっています。

3. 「介護福祉士基本研修」の内容について

国家資格である介護福祉士が行うべきなのは、利用者の生活全般について、観察などから情報収集して、それらの情報を統合・分析し、どのような課題、ニーズがあるのか発見したうえで、QOLを高めるための介護方法を見出していくことです。

日本介護福祉士会の打ち出している介護福祉士の専門性にも、「介護過程の展開による根拠に基づいた介護実践」を明記しているところです。

講義と演習等を通じて倫理についての再確認やアセスメント、介護過程という介護福祉士の専門性の1つを学びながら、他の受講者と話し合い、結果を導き出そうとする過程で、コミュニケーションや人間関係の一端も学ぶことができるのではないのでしょうか。

4. 介護福祉士基本研修 標準カリキュラム

| 研修内容 | 時間数 |
|--|-------------|
| 1. 介護過程を展開する前提として ①求められる介護福祉士 ②生活支援としての介護の視点 ③自立支援の考え方 ④介護福祉士に求められる知識と技術 | 6 (講義中心) |
| 2. 介護過程の基礎的理解 ①介護過程の意義と目的 ②介護過程の具体的な展開 ③介護過程とチームアプローチ | 6 (講義中心) |

| | |
|---|--------------|
| 3. 介護過程の展開の実際 事例1 「障害者支援施設で生活する Aさんの事例」 事例2 「介護老人福祉施設で生活する Cさんの事例」 事例3 「自宅で生活するEさんの事例」 | 12 (演習中心) |
| 合計 | 24 |

※岡山県介護福祉士会ではこのカリキュラムを4日間で受講できるように、計画しています。

5. 今までの「介護福祉士初任者研修」を途中まで受講されていた会員について

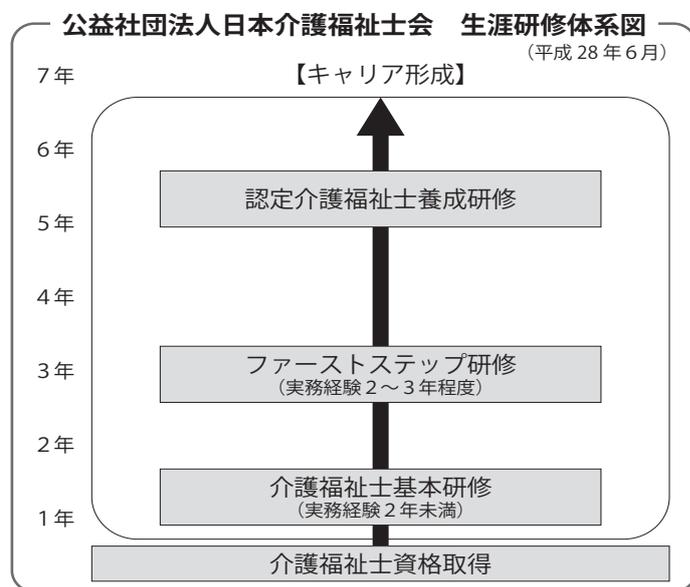
岡山県介護福祉士会では、「介護福祉士初任者研修」を各地区と県事務局で行っていましたが、まだ全てを受講されていない会員につきましては、「介護福祉士初任者研修」を29年度中に全て受講できますようお願いをいたします。

なお、29年度の研修予定を月ごとに計画しましたので、ご参考の上、漏れなく受講してください。

全ての初任者研修を受講された方は、修了証を発行いたしますので、「初任者研修修了証申請書」を事務局当てに提出をお願いいたします。

《29年度 各地区初任者研修予定表》

- 6月…新見地区『福祉用具の意義と活用』
 - 7月…美作地区『介護福祉士のための医学知識』
 - 8月…井笠地区『記録と報告』
 - 9月…倉敷地区『介護福祉士のための介護技術』
 - 10月…東備地区『介護福祉士の基本的態度』
 - 11月…真庭地区『介護福祉士の仕事とコミュニケーション』
 - 12月…高梁・総社地区『介護福祉士の専門性と職業倫理』
- ※変更の可能性もありますので、ご理解ください。



突然インタビュー

インタビュー者：倉敷地区地区部長
吉田 和明さん

12月研修会終了後、
研修会会場でインタビューを行いました。



Q：介護福祉士になったきっかけは…

A：高校生の時に、先輩が介護福祉士として老人ホームで働いていて、夏祭りを行うので手伝ったことがきっかけだったと思います。当時は、漠然と「福祉」という言葉は耳にしたことがありましたが、何をやるのかはよく分かっていませんでした。何度かボランティアという形で老人ホームへ行かせていただき色々とお手伝いをさせてもらいました。「こんな仕事もあるんだ」と思い、自分でも役に立てることができるとかと思いついて介護福祉士の専門学校に進みました。

Q：地区部長をされてみての感想

A：地区部長になり、3年が経とうとしています。特に自分自身で行ったことはなく、皆に助けられて行っています。岡山県全体の地区部長の中で一番頼りない部長だと思っています。しかし、岡山県一の倉敷地区委員の皆に支えられていますので心強く感じています。委員の皆さんには感謝しかありません。



Q：介護福祉士会に入ってみて思い出に残っていること

A：色々な職場の方々と話せたことです。色々な意見や、それぞれの職場での方法や考え方を聞くことで、自分の考えや置かれている環境を見直すことができました。また、介護フェアに参加し着ぐるみを着たことが強く印象に残っています。(暑かったです…)

Q：倉敷地区発展のために、今後してみたいことや期待すること

A：もっと多くの方に、倉敷地区主催の研修会に参加してもらいたいと思っています。そのためにも、皆が参加してみたいと思う企画を倉敷地区委員で考えていきたいと思っています。研修会参加者が増えれば、活気もつき会員も増えるのではないかと期待しています。

Q：休日の過ごし方、趣味などについてお聞かせください

A：特にこれといった趣味はないのですが、好きなのはお酒を飲むことです。つつい飲みすぎてしまうので反省の毎日です。あとは、ゴルフが好きで、月に1回程度ラウンドしています。スコアは…まあ、楽しんで行くことを目標にしています。

(倉敷地区：広報 田中)

地区の おすすめ スポット紹介

真庭地区編

今回、ご紹介するおすすめのスポットは、岡山県の北部にある『神庭の滝』です。

この滝は、日本の滝百選に選ばれており、落差110m、幅20mの滝です。滝だけではなく、野生の猿を見ることができます。付近の渓谷では、新緑から紅葉と四季を通じて美しい景観を楽しむことができます。



※近くには、カフェもあり、特産品を提供しています。

(真庭地区：広報 樋口)

— 介護職員のストレス発散と趣味 —



今回は私の介護職としてのストレス発散、息抜きについて書かせていただこうと思います。日々、ご利用者さんと接されている介護職の皆様、肉体的・精神的に疲れるということが多々あるでしょう。私は仕事と休みの日にメリハリを付けて過ごすようにしています。「仕事も遊びも100%やりきる」ことが目標です(笑)

私の趣味、それはファジアーノ岡山の応援です。7年前、友達に誘われ当時の

桃太郎スタジアムに行ったことがきっかけでした。それまでサッカーは日本代表くらいしか見ていなくて、Jリーグよりバルセロナやレアル・マドリードといった海外サッカーの方が好きだったので。しかし、目の前のボールを一生懸命に追いかけている選手たちとスタジアムを包む拍手と歓声に感動したことは今でも忘れられません。これはテレビでは伝えられない部分だと思います。

今では2週間に1度の岡山でのホームゲームはほぼ毎試合観戦し、四国や関西でのアウェイゲームにも出かけるようになりました。そして、今シーズンはJ1昇格まであと一歩というところで終わってしまいましたが、全国ニュースに「ファジアーノ岡山」が何度も取り上げられ、日増しに注目されたのを実感しています。岡山の盛り上がりも11月からすごいものがありました。

ファジがあるから仕事も頑張れる、そんな自分の生活はまだまだ続きそうです。何か面白いものを発見したいと思っているあなた、ぜひファジアーノに触れてみてください。サッカーだけではない岡山の新発見がきっとスタジアムにあると思います。(特別養護老人ホーム 穂香の里 丹原 佑輔)

みんなの広場

ほっとステーション



我が家の癒し

我が家には17歳になるおばあさんネコがいます。とてもわがままに育ちました。ネコの好物は「剣先スルメ」と「かつおぶし」です。

昔、「ネコにスルメを食べさせると腰が抜ける」と聞いたことがありますが嘘ですね。全然平気です。

寝る時も専用のあんかと毛布で寝ます。毛布の中へは自力で入ろうとしません。毛布の上で鳴きます。最近はヒーターのスイッチが入っていないと、ヒーターの前で鳴いて催促します。いつもヒーターの前にいるので、ヒゲの先が丸まっています。

日中天气が良くなってくると、外に出て庭を一周して来ます。庭から外へは行きません。他のネコに追いかけるからです。



夜は起きて活動します。夜中、お腹が空くと寝ている者を起こす為、あちこちの戸をガタガタと物音をさせたり、大きな声で鳴いたりして家中を徘徊します。

ご飯を食べるとまた、あんかの上の毛布を持ち上げてもらうため、鳴きます。

わがままにしてしまったのは自分達ですが、かわいい我が家の「癒し」です。

いつまでも元気に「癒し」続けてほしいです。

(ペンネーム：ネコ太郎)



✉ 県介護福祉士会からのお知らせ

◇会員登録について

年度末近づいてきました。住所、職場の変更はございませんか？登録内容について変更がございましたら、変更届のご提出をお願いいたします。

また、退会につきましても同様、必ずその年度中（3月31日まで）に退会届をご提出下さい。お仕事を退職されただけでは退会とはなりませんのでご注意下さい。様式は、事務局へご連絡頂ければ送付いたします。またホームページからも取ることができます。



ほっとステーションへの投稿をお待ちしています

あなたの職場の様子や利用者さんとの日々のやりとりを教えてください。同じ“介護”で働く皆さんが共有できる、そんな情報をお待ちしています。



編集担当

岡山県介護福祉士会
広報委員会

- | | |
|-------|-------|
| 磯田 明枝 | 山縣 香織 |
| 的場 智美 | 育子 |
| 田中美保子 | 幸子 |
| 吉田 和明 | 美樹 |
| 甲加 勇樹 | 美佳 |
| 滝川 晃子 | 統夫 |
| 河島 友美 | 幹人 |
| 小橋謙太郎 | 和彦 |
| 田口百合子 | |